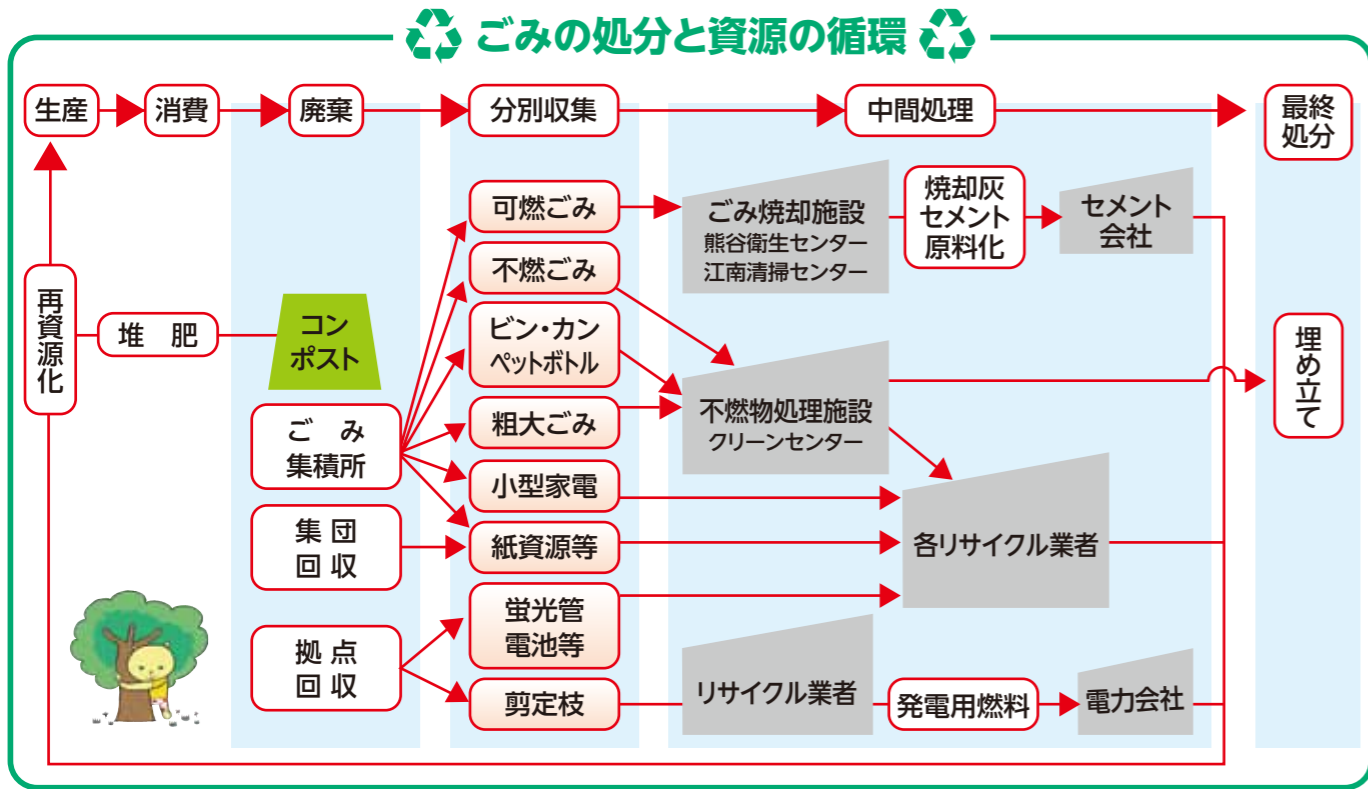


# “ごみ”について考えよう

## —熊谷市のごみの現状と減量化対策—

◆廃棄物対策課(江南庁舎) ☎048-536-1549



### ごみの現状は？

熊谷市のごみの排出量は、減少傾向を示していましたが、平成二十四年には増加に転じました。

本市の一人一日当たりのごみの排出量は、家庭系ごみと事業系ごみの両方とも多く、国や埼玉県の平均を大きく上回ってしまっています。

ごみの処分には焼却などの処理費用と施設の維持管理費用がかかり、ごみが増えるとその費用も増えてしまいます。

また、ごみが多いと焼却施設に与える負荷も大きくなります。特にプラスチックごみは炉を傷める原因と言われ、分別が課題となっています。

現在、大里広域市町村圏組合では老朽化した焼却施設の改修工事を順次行っています。ごみが減らされれば、こういった施設を長持ちさせることができ、費用の節約にもつながります。

また、ごみを焼却処分すると二酸化炭素が排出され、地球温暖化を進めてしまっています。ごみを減らすことは地球環境を守るためにもとても大切なことなのです。

### ごみを減らすには、3R(スリーアール)が大事です。

3Rとは環境と経済が両立した循環型社会を形成していくための3つの取組みの頭文字をとったものです。3Rは、リデュース、リユース、リサイクルの順番で取り組むことが求められています。

今、本市で注目しているのが、ダンボールコンポストです。ダンボールは、手軽に生ごみを堆肥化できることから、全国各地で取り組まれています。

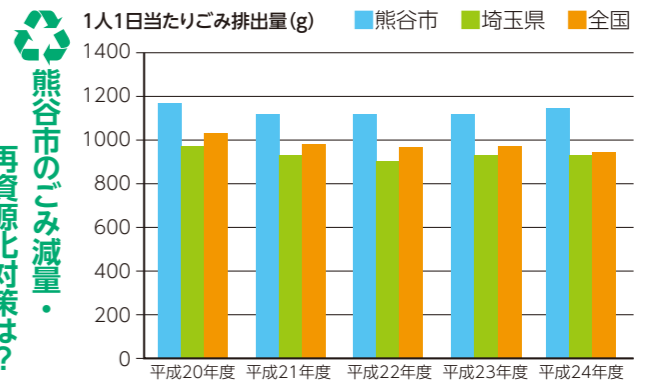
ダンボールコンポストとは、ダンボール箱を利用した生ごみ処理容器で、わずかな費用で身近にある道具を使ってご自分で作る事が可能です。

できあがった堆肥は、園芸やプランターなどに利用できます。



みかん箱を利用したダンボールコンポスト

今後、ダンボールコンポスト講習会などの開催を予定していますので、ぜひご参加ください。



### 熊谷市のごみ減量・再資源化対策は？

本年度から次の事業を始めました。

**剪定枝再資源化事業(6月)**  
市内の家庭等から排出される剪定枝を再資源化するため、市内3か所の回収拠点にコンテナを週替わりで設置しています。

なお、12月1日から造園業などの専門業者の方や大型車での搬入はできなくなります。**小型家電リサイクル事業(10月)**  
小型家電製品を分別収集し、希少金属等をリサイクルします。小型家電は、粗大ごみの収集日に集積所にお出しください。

**Reduce (リデュース=発生抑制)** 一番大切なのはごみを出さないこと。ごみになるものを買わない、もらわない、作らない。長く使うことも発生抑制になります。

**Reuse (リユース=再利用)** モッタイナイは世界の合言葉。まだ使えるものが不要になってしまったら、必要とする人に譲りましょう。

**Recycle (リサイクル=再資源化)** やむを得ずごみになってしまったものもしっかりと分別すれば、資源に生まれ変わります。

### 生ごみの「ひとしほり運動」を実践しましょう

ご家庭から排出される生ごみは、その大部分が水分です。生ごみを水切りネットなどでひとしほりすると、ごみの減量効果が期待でき、悪臭防止にも効果的です。

皆さんのちょっとした心がけ…それがごみ減量への第一歩！

### 「ひとしほり」

**剪定枝破砕機を無料貸し出します**  
チップ化した枝は、雑草の発生抑制や粉じんの巻き上がり防止、土の乾燥防止や温度変化の緩和などの効果があります。

**予約方法** 左記に直接または電話で予約。

**申込方法** 左記に利用者が本人が運転免許証等を提示のうえ、借用申請書を提出。



### 生ごみ処理容器購入費補助制度

**対象** ①生ごみ処理容器  
②電気式生ごみ処理機

**補助額** ①購入価格(消費税等除く)の1/2(上限1万5000円。1世帯につき2台限り)  
②購入価格(消費税等除く)の1/2(上限2500円。1世帯につき2台限り)

**申請方法** 所定の申請用紙に必要事項を記入し、販売店の領収書等を添えて、左記へ。

※一度補助金の交付を受けた後、5年間は同補助を受けられません。

各申請書は市ホームページからダウンロードできます。

◆廃棄物対策課(江南庁舎) ☎048-536-1549

### 楽しく交流！楽しく学ぼう！

**「ダンボールコンポストによる生ごみ堆肥化プロジェクト」交流会**

とき 平成27年1月24日(土) 13時30分から

ところ 中央公民館

内容 ダンボールコンポストに関する交流会、ごみ問題の専門家との意見交換会

費用 無料

申込み 電話で左記へ  
主催 ハチドリくらぶ  
◆ハチドリくらぶ(嶋田) ☎048-523-8942

### 冬休み小学生環境講座

くま博士が楽しく熊谷のごみのお話をします。

対象 小学4～6年生

とき 12月26日(金)10時から

ところ 商工会館大ホール

定員 20人(先着順)

費用 無料

申込み 電話で左記へ  
◆廃棄物対策課(江南庁舎) ☎048-536-1549





# フォトニュース



## 武蔵ヒートベアーズの監督が決定!

10月27日、阪神などで活躍した元プロ野球選手の星野おさむさんが武蔵ヒートベアーズの初代監督に就任しました。これから来年の開幕に向け、選手の補強などのチーム作りが始まります。



## 子ども達の笑顔があふれました

10月23日、大里体育館で熊谷市子育て支援拠点合同イベント「第6回くまSUNフェスタ」が開催されました。当日は、親子一体となって大盛り上がりでした。



## 秋のイベントを満喫!

11月2日、「第13回オ・ドレ・なおざね」がコミュニティひろばや国道17号で開催され、ダンスチームは華麗な踊りで観客を魅了しました。また、同日えびす大商業祭の稚児行列が行われ、大きなえびす様の像や神輿を先頭に祇園関係者や衣装に身を包んだ稚児たちが駅西通りを練り歩きました。



## 公民館について語ろう

10月16・17日全国公民館研究会in埼玉が開催され公民館関係者が全国から熊谷に集いました。記念講演を本市出身の作家森村誠一氏が行い、また県の無形指定文化財である小鹿野歌舞伎が披露され観客から大きな喝采を浴びていました。



## 代表でも輝くアルカスの選手達

10月30日、第17回アジア競技大会の女子7人制ラグビーにおいて、日本代表が銀メダルを獲得したことに伴い、アルカスクイーンマガヤ所属の5名の代表選手のうち4名が市長を表敬訪問しました。



## 幻想的な星の国に☆

11月2日、星川でイルミネーションの点灯式が行われました。富士見中学校の演奏と、子ども達の沢山のシャボン玉が舞った星川に光が灯されると、大きな歓声が上がりました。Star Nation(星の国)は、来年1月12日まで楽しむことができます。



## 気持ちのいい秋晴れ、実力者達が疾走

11月3日、「2014彩の国実業団駅伝」が開催されました。沿道は熱い声援で溢れ、フィニッシュ地点の熊谷スポーツ文化公園を目指す選手達にとって大きな力となったでしょう。



## 第6回みどりのカーテン・コンテスト表彰式

10月24日、緑化センターにおいて、第6回みどりのカーテン・コンテストの表彰式が行われ、入賞者が市長から表彰を受けました。



## 書道と道路愛護でうれしい受賞

10月20日、全国学生書写書道展で文部科学大臣賞を受賞した熊谷西小の石川千寛さんと、道路ふれあい月間において国土交通大臣表彰を受賞した三尻中学校の生徒代表が市長を表敬訪問し、喜びの報告をしました。



## 掘り出しもの、見つけた!

10月25日、環境美化センターでリサイクルフェアが行われました。家具・自転車・本などのリサイクル品が販売され、訪れた人々は熱心にお気に入りの品を探していました。



## 地域の伝統と魅力を再確認

10月26日、江南総合文化会館びわく駐車場で「第8回こうなん祭り」が開催されました。地域の伝統芸能、グルメなどが大集合し、終日多くの人でにぎわいました。

### おたよりパレット

テーマ

#### 2014年中に済ませておきたいこと

まさに、光陰矢のごとし!早いもので2014年も残り1か月を切りました。写真の整理にダイエットなど、新しい年を迎える前に済ませておきたいことは尽きないようです。おたよりパレットは、市ホームページ <http://www.city.kumagaya.lg.jp/>でも、更に詳しく紹介しています。

市報クイズ10月号で寄せられたご意見を紹介します。

- 自転車に乗れるようになりたいです。(6歳・女の子)
- ダイエット目標体重達成まで、あと2キロ。頑張ります。(50代・男性)
- ズバリ、子どものおむつ離れです。3歳1か月の少しのんびりな息子のパンツデビューを、今年中にしたいと思います。息子よ!協力をお願いします…(30代・女性)
- 過ぎし人生の記録(アルバム写真・日記・手帳記事)をスキャナ等によりデジタル化してきたが、残る10%程を今年中に仕上げる予定です。(80代・男性)
- 庭の大きな松を手入れすることです。若い頃からの趣味で園芸をしているので、今年中にきれいにしたいですね。(50代・女性)

今月のテーマ、「わが家のおすすめ鍋料理」にいただいたコメントは、「おたよりパレット」や市ホームページで紹介させていただく場合があります。

#### 応募方法

ハガキまたはEメールに、クイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・今月のテーマ「わが家のおすすめ鍋料理」のコメントとおすめの理由を必ず記入し、12月22日(月)までにご応募ください(一人につき一通)。

《応募先》〒360-8601 宮町二丁目47番地1 熊谷市広報広聴課  
☒ kohokocho@city.kumagaya.lg.jp

※なお、市内の商店・企業を知っていただくという趣旨で、当選者にはプレゼント引換券をお送りしますので、お店でご使用ください。当選者の発表は、プレゼント引換券の発送をもって代えさせていただきます。

#### 10月号の正解



①妻沼グライダー滑空場 ②特定検診  
◆応募総数54通中、正解53通

#### 今月の問題

次の□に入ることばを、それぞれお答えください。  
①平成26年熊谷市交通安全スローガンは「考えてスマホと命□?」  
②ストップ温暖化!12月は□月間です。

#### 今月のプレゼント

愛茶園ご提供の唐揚げセット(※ランチ限定)を、正解者の中から抽選で10人に提供します。  
所在地:熊谷市肥塚1415-1  
電話:048-578-4036

#### 読んで当てよう

## 市報クイズ



# 夢追人

## 「目標を見据え、自分と戦う」

長崎がんばらんば国体  
少年女子Aハンマー投げ優勝者  
江原 宇宙さん(葛和田)



### ハンマー投げとの出会い

ハンマー投げを始めたきっかけは、進修館高校の陸上競技部監督の高橋先生から勧められたことです。もともと運動が好きで、中学校では砲丸投げをやっていました。ハンマー投げを始めた頃は、ハンマーを10mぐらいしか飛ばせず、いつ先輩のように投げられるのかと思うこともありましたが、しかし、高校の恵まれた環境や先生の指導のもと、練習を続け、今年8月に行われた第2回全国選抜陸上競技大会では、大会新記録で優勝することができました。

ハンマー投げは、個人競技ですので結果を他人のせいにすることも出来ません。「自分との戦い」、そこが私に向いていると思います。

### 先輩の思いを胸に臨んだ 長崎がんばらんば国体

10月の長崎がんばらんば国体では、少年女子Aハンマー投げで53.04メートルの記録で優勝することができました。1年生の時、勝山眸美先輩(現在筑波大学)が国体で優勝したのを見ていたので、私も同じ場所に立ちたいとの思いで練習に励んできました。4回目までは思うような記録がでませんでしたでしたが、今までの練習を思い出し5投目を投げました。投げた時の感覚で、「これはいい記録がでる」と感じました。お世話になった先生や支えてくれた仲間、家族の喜ぶ顔が見られてとても嬉しかったです。

### 一歩、一歩、 そして次を目指して

国体では優勝できましたが、次の目標に向けての練習はもう始まっています。



投てきする江原さん

練習次第で記録が伸びると思いますので、辛いと思ったりはありませぬ。現在、4回転での投てきに組み込んでいます。3回転での投てきよりさらに記録を伸ばせると思っています。進修館高校卒業後は、進学して競技を続ける予定です。次はインカレ優勝を目指します。もちろん、その先に大きな目標はありますが、一歩ずつ着実にステップアップし、お世話になった方々に恩返しができるばと思っています。熊谷の会場で競技大会が開催されることも多いので、みなさんが応援に来ていただけたら嬉しいです。

## 来て!見て!知って!文化財

### 寺門静軒の足跡

— 儒学者の生涯と近代熊谷の曙 —

寛政8年(1796)、江戸小石川の水戸藩邸内に生まれた寺門静軒は、若くして儒学と仏典を学び、儒学者として多くの子弟を育てました。一方で『江戸繁昌記』を著して広く知られるようになりましたが、風俗を乱したとして江戸追放の刑を受け、各地を転々となりました。

その果てに辿り着いたのが熊谷でした。静軒は奈良村の吉田市右衛門家に身を寄せた後、妻沼の歎喜院に滞在しました。その際、歎喜院院主の英雅上人や地元の人々の要請に応じて、万延元年(1860)に「両宜塾」を開校しました。「宜しく老い、宜しく学べし」という理念のもと、竹井澹如、石川弥一郎をはじめ地域文化の発展に尽くした有能な人材を輩出しました。

慶応3年(1867)、静軒から漢学者の松本萬年に引き継がれた両宜塾では、日本初の公許女医となる荻野吟子が学ぶなど、

地域の教育機関としての役割を果たしました。

その後、静軒は鎌倉町の石上寺に住まいを移し、檀徒や宿場町の人々に漢学などを教えました。そして、晩年になると、旧知の間柄であった大里の根岸友山に迎えられ、邸内の「三餘堂」にて塾生を指導しました。慶応4年(1868)3月24日、この地で亡くなり葬られるまで、多くの人々に慕われました。

静軒の後半生は、まさしく熊谷と共にありました。「両宜塾跡」、「三餘堂跡」、「寺門静軒の墓」のほか、「両宜塾記」などの書画も残されており、これらの文化財が静軒の生涯を今に伝えています。多くの民衆に学問と教育の意義を語り続けた静軒の存在は、近代熊谷の曙に輝く明星であると言えます。

◆江南文化財センター ☎048-536-5062



### 人口と世帯

平成26年11月1日現在(対前月比)

■人口 201,791人(+4) 男 100,632人(±0) 女 101,159人(+4) ■世帯 83,590(+75)

「市報くまがや」12月号は、72,400部作成し、広告料収入を差し引いた印刷・製本にかかる市の負担は、1部当たり14円です。「市報くまがや」は、再生紙を使用しています。

●発行日 平成26年12月1日 ●発行 熊谷市  
●編集 広報広聴課 〒360-0860 熊谷市宮町二丁目47番地1  
☎048-524-1111(内線206) ☎048-520-2870

「市報くまがや」は、毎月1日(原則)に発行し、自治会を通してお届けします。また、市役所・行政センター・出張所・公民館・駅連絡所などでもお配りしています。インターネットでも「市報くまがや」を「読みなれます」(URL) <http://www.city.kumagaya.lg.jp/>